

工事写真報告書

工事番号 平成 28 年度

工事名 S 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 福岡市 西区 西の丘

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



屋根

この素材はセメント:アスベスト(又は^ル繊維)が85:15で作られています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗装を焼き付けており、7年ぐらい経過すると表面の防水効果が低下し、だんだん反りや割れが生じてきます。



屋根

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合、処分費がかなりかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めをします。



屋根

同上



破風板

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



破風板

同上



破風板

同上



帯

経年劣化しています。

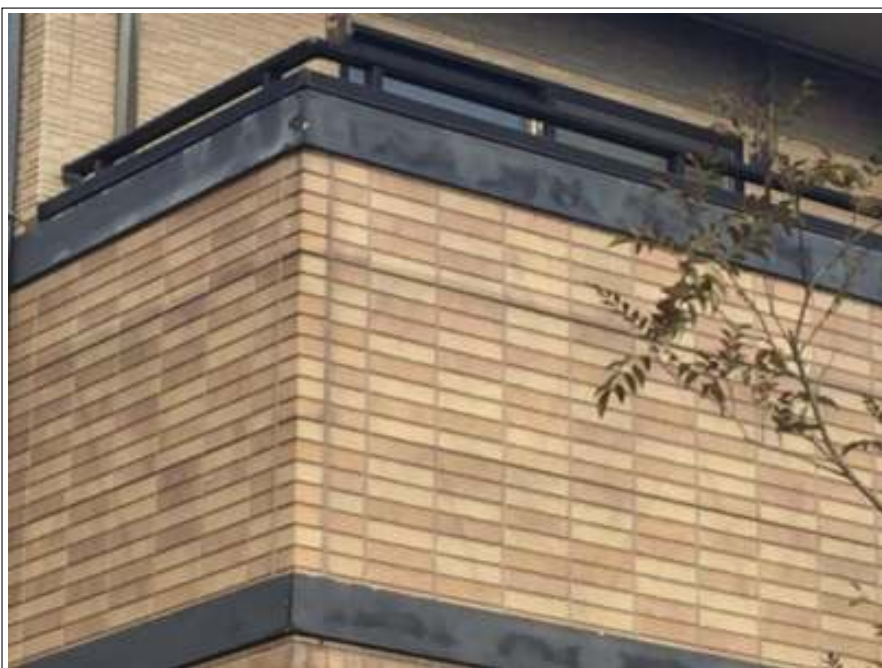
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



帯

つなぎ目の部分や表面の劣化が目立ちます。

この部分はケレン作業やシーリング補修等で下地処理をおこない、塗装をしていきます。



帯

旧塗膜の剥がれが見られます。

このまま塗装をしても、旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレンで除去し、専用下塗で下地処理をおこなう必要があります。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



ダクトカバー

同上



シャッター

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



土台水切り

対処方法

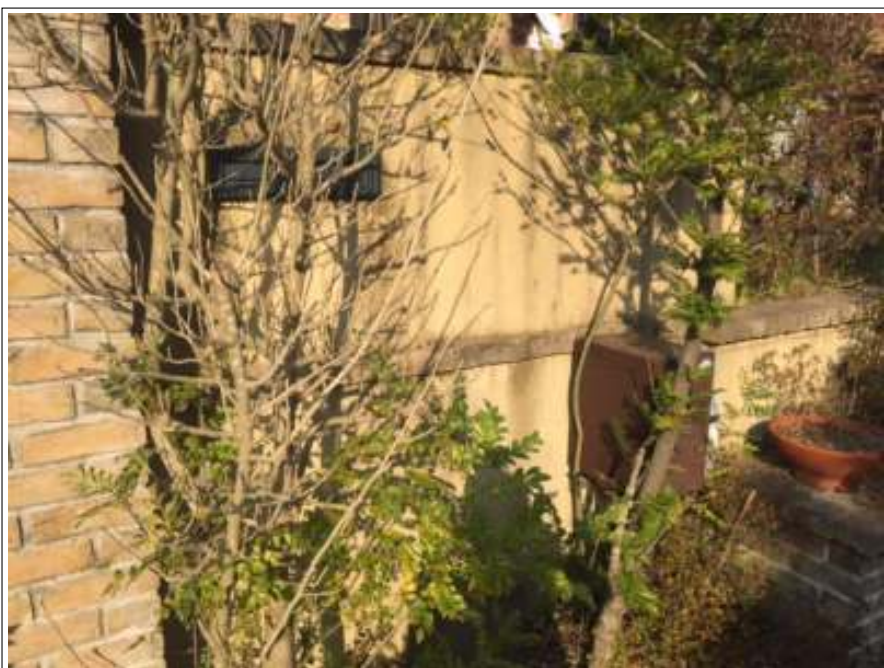
サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



塀

カビの発生が見られます。

カビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



塀

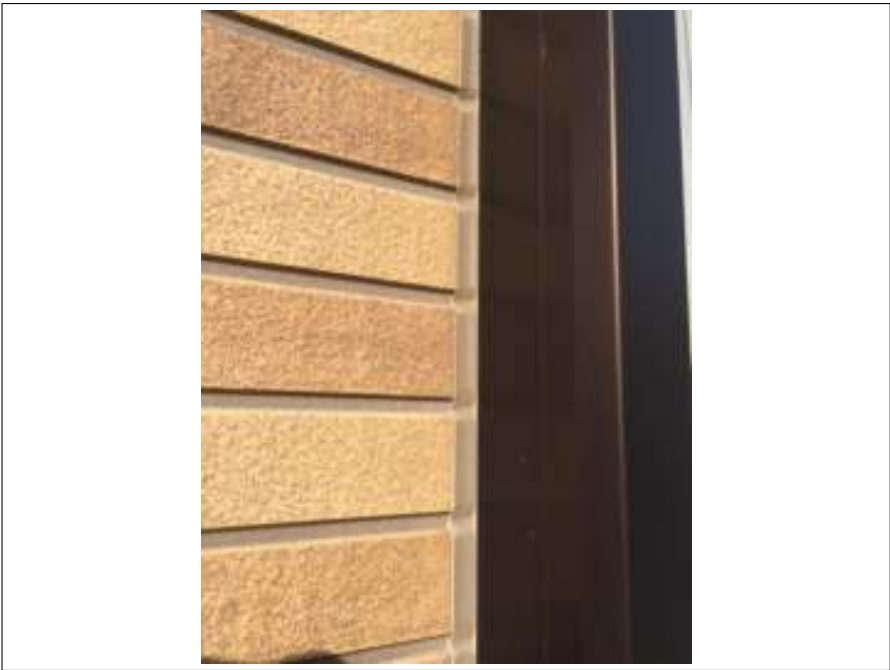
対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



シーリング劣化部

クリアー塗装の場合はシーリング面
への塗装は不可になりますので、
表面の塗装をおこないシーリング部
は後打ち工法をしていきます。



サッシ廻りシーリング劣化部

サッシ廻りや外壁谷のシーリング部
は、全面打ち増しをおこないます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

